

七郷小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			東物部 No.1				東物部 No.2				No.3			
月 日 時 刻			6月21日 10時20分				6月21日 10時20分							
天 気			晴れ				晴れ							
水 温 (°C)			22.0 °C				21.5 °C							
気 温 (°C)			28.0 °C				28.0 °C							
川 幅 (m)			1.5 m				1.3 m							
河 川 名			前川				中川							
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面				全面							
水 深 (cm)			10.0 cm				30.0 cm							
流 速 (cm / s)			30.0 cm/s				45.0 cm/s							
水 の よ う す			指標生物											
I きれい	1	カワゲラ類												
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類												
	3	ヒラタゲロウ類												
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類												
	6	ガガンボ類												
	7	サワガニ	●											
I・II 共通	8	ウスムシ類	○											
	9	2以外のトビケラ類					○							
	10	3、14以外のカゲロウ類	○				○							
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類												
	12	シジミ類					○							
II・III 共通	13	カワニナ	●				●							
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類	○											
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミミズ類												
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のような区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	3	3	2		2	4	1					
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	1	1			1	1					
	合 計 (1欄+2欄)		4	4	3		2	5	2					
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I・II				II							

調査考察・活動内容

本校では、3年生が総合的な学習の時間に「七郷環境調査隊」として、水生生物の調査を行っています。今年度は12名が校区（東物部）を流れる2か所の川（前川・中川）の調査を1学期に行いました。

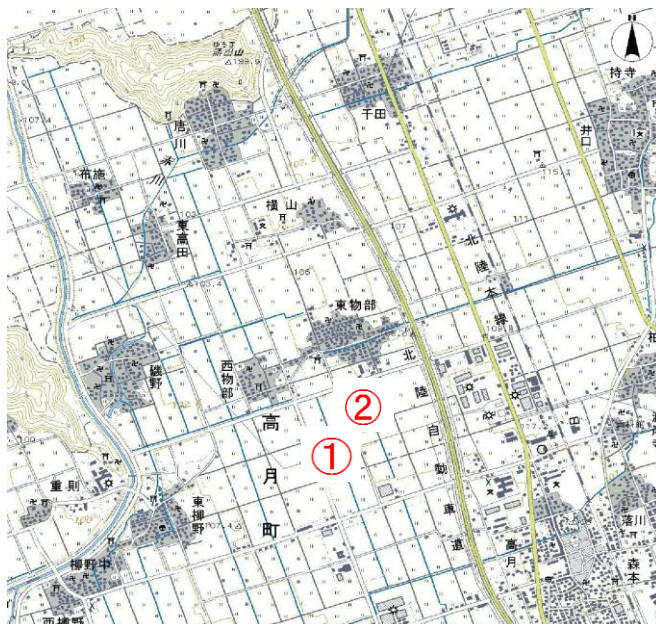
活動当日は、水生生物に詳しい外部講師の方に来ていただいて、採取の仕方や水生生物の名前・特徴について教えていただきました。

調査計画

1学期：身近な川の生き物調べ(学区内の川で)

(1) 東物部の前川

(2) 東物部の中川



(1) 東物部の字の中の川（前川）

6月21日 10時20分 天気(晴れ) 気温(28℃) 水温(22℃)

初めての水生生物調査に子ども達は興味津々でした。講師の来見先生に生き物の探し方や道具の使い方などを説明していただきました。東物部の地域の方々にも来ていただき、丁寧に指導をしていただきました。

前川は、字の中を流れる川で流れはゆるやかでした。川底は、泥と石であったため、川上で活動をする、川下がすぐ濁ってしまい、採取するのが難しいようでもありました。道具も初めて使うものが多く慣れるまで時間がかかりましたが、それでも時間が経つにつれて、あちこちから、「見つけた」「これ何かな？」という声が上がってきました。

見つけた指標生物は、サワガニ、ウズムシ類、3.14以外のカゲロウ類、カワニナ、ヒル類でした。そのなかでもサワガニが最も多く採取できました。次に多かったのが、カワニナでした。指標生物以外には、カワリヌマエビ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、タナゴ、メダカ、アブラハエなどが採取できました。

ほかにもサワガニには利き手があり、それははさみの大きさで見分けられるということや、字の中の身近な川にたくさんの小さな生物や貴重な生物がいることを講師の先生から教えていただきました。判定結果は、「ⅠⅡ少し汚れている」でした。



環境日記より

前川の調査では、あみやざるを使って、たくさんの生き物を採取することができました。どろの中や石の下に、見たこともない小さな生き物がいて、びっくりしました。きれいの指標生物のサワガニがいたのに、水がよごれているんだとわかってびっくりしました。2年前の調査結果を見ると、前川は「きれい」でした。私もふだんきれいな川だと思っていたけれど、判定が「少しよごれている」だったので、びっくりしました。また、採取したハグロトンボが、思ったよりも大きくてびっくりしました。

(2) 東物部の字の端の川（中川）

6月21日 10時20分 天気(晴れ) 気温(28℃) 水温(21.5℃)

2度目の採取という事もあり、講師の来見生と一緒に気温や水温、川幅などを測ることがスムーズにできました。また、1度目に採取した前川と違い、流れが少し速かったので、ひも付きのペットボトルを流すことで流れの速さが分かることが実感できました。

前川は、字の端を流れる川で流れは中川に比べると少し速く感じました。川底は、コンクリートの上に泥と少し砂が混じっていて、人工的に作られた川でした。

水生生物の採取についても、前川の採取で学んだことを生かすことができました。ざるで泥と砂ごとすくいあげて観察したり、ポイントを変えて網で探ったり、見つけた生物の特徴を観察する姿などが見られました。また、グループに分かれて川上、川中、川下で活動していたので、採取した生物に違いがあることにも気づきました。

さらに、この採取した生物を講師の先生に教えていただきながらさらに細かく種類分けをし、虫眼鏡などを使って細かなところまでじっくり観察することができました。

見つけた指標生物は、2以外のトビケラ類、3.14以外のカゲロウ類、シジミ類、カワニナでした。そのなかでも、カワニナがたくさん採取できました。また、指標生物以外では大量のナベブタムシやコガタシマトビケラ、タナゴなどが採取できました。判定結果は、「Ⅱ少し汚れている」でした。



環境日記より

顕微鏡や虫眼鏡を使ってたくさんの生物を種類分けするのはたいへんだったけれど、細かいところまでかんさつできました。一番、多かった水生生物はナベブタムシで、いっぱいいたのでおどろきました。水のきれいさによって、すんでいる水生生物がちがうことがわかりました。先生の話の聞いていると、きれいな川にはサワガニがいて、よごれている川にはイトミミズがいることがわかりました。中川にはサワガニがいなかったの、前川の方がきれいだと思います。数年前の調査結果を見ると、中川は「少し汚れている」でした。ぼくは、川はきれいだと思っていたけれど、よごれていてびっくりしました。

〇まとめ

- ・水生生物の調査をして、プラナリアの体を何度切っても生き続けていることがわかり、水生生物にはこわい生き物もいることがわかりました。
 - ・調査をしてみると、いろんな見たこともない水生生物がいました。小さい生き物もいたので、すごいと思いました。
 - ・調査をしてみると、東物部の川は少しよごれていることがわかりました。
 - ・調査のためにつかまえた水生生物を集めたら、しゅるいがとても多くて、びっくりしました。
 - ・これから私たちにできることは、水生生物を守っていくために、川やびわ湖をきれいにしていきたいです。
 - ・川やびわ湖に落ちているゴミを拾うと、川やびわ湖がきれいになります。
 - ・川をきれいにするためにゴミを捨てたりしません。川に落ちているゴミを全部拾います。
 - ・七郷小学校では、毎年びわ湖の日の取り組みやクリーン活動として、ゴミ拾いなどをしています。
- これからもがんばりたいです。 (児童の感想より)